

MOU 署名式 宿利会長挨拶

こんにちは。

運輸総合研究所の会長を務めております宿利正史です。

本日、IPA、CMEC 及び JTTRI の 3 つの機関での MOU を締結する署名にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

四方を海に囲まれた日本は、海を通じて各国との貿易や交流を深め、繁栄を築き上げてきた海洋国家です。

海事及び港湾の発展は日本の経済・社会及び国民生活にとって極めて重要であることは言うまでもありません。インドも、大きな海洋に面して、貿易の 95%を海上輸送が担う海洋国家です。そして、両国ともグローバルな物流に関して、インド・太平洋の要衝に位置しています。

一方、近年、海洋秩序を含め国際秩序の不安定さが顕在化し、ホルムズ海峡が事実上の封鎖状態となるなど、国際海運・物流とグローバルサプライチェーンが大きく混乱しています。また、海事及び港湾分野を含む脱炭素化が地球規模の重要課題となっています。

これらの問題は一国のみで解決できるものではなく、グローバルな関係国間の協力・協調体制の構築により、相互に知見を共有し、協働して取り組んでいくことが不可欠です。

このような今日の状況の下、昨年 12 月に私が IPA 及び CMEC とオンライン会議を行った際に、両機関と関心分野が一致することを確認しました。本日、日印の 3 つの機関が海事及び港湾分野における MOU を締結することは、両国のみならず、世界の海事社会においても大きな意義があると考えます。

これにより、3 つの機関が相互交流、研究協力をを行い研究成果の共有や共同のセミナーの開催などの連携・協働活動を進めていくことを大いに期待します。

これまで、運輸総合研究所は、2024 年 8 月及び 2025 年 10 月に Gati Shakti Vishwavidyalaya (GSV) 及び National Maritime Foundation (NMF) とそれぞれ MOU を締結しており、日印間の陸海を網羅する協力体制を構築しました。今般の IPA 及び CMEC との MOU の締結により、海事及び港湾の分野でその関係がさらに強化されることとなります。

また、JTTRI は、本年秋頃にニュー・デリーに、インドを中心に南アジア地域を担当する事務所を設置する予定であり、これが設置された暁にはこの事務所を通じて連携・協働活動を着実に強化していくつもりです。

最後になりますが、IPA 及び CMEC に対し、この MOU の締結のための準備を含めたご協力に厚く御礼申し上げますとともに、今後の活動の推進につきよろしく申し上げます。

ありがとうございました。